

消防参第177号

令和5年6月26日

各都道府県消防防災主管部長 殿

消防庁国民保護・防災部参事官

(公 印 省 略)

第26回全国消防救助シンポジウムの開催について（通知）

標記シンポジウムを下記のとおり開催しますので、貴都道府県内の消防本部及び消防防災関係機関へ周知いただき、参加者及び事例研究発表希望者の取りまとめについて御配慮ください。

記

1 日時

令和5年12月14日（木）10時30分から17時00分まで

2 会場

銀座ブロッサム中央会館

東京都中央区銀座2丁目15番6号

3 テーマ

「最適な救助活動のための備え

～効果的な教育・訓練と災害事例の共有・活用～」

4 開催要領

別紙のとおり

5 その他

現在、会場及びオンラインで同時開催する「ハイブリッド開催方式」で進めています。感染症等の拡大状況によっては開催方式を変更する場合がございます。その場合は別途、御連絡いたしますので、あらかじめ御了承くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付救助係

志水係長、戸田事務官

TEL: 03-5253-7507

E-mail: fdma.kyuujo@soumu.go.jp

第26回 全国消防救助シンポジウム開催要領

1 目的

本シンポジウムは、全国の消防・救助隊員、消防学校関係者、都道府県消防防災関係者等を対象とし、救助技術の研究開発及び消防活動事例の発表や意見交換を行うことにより、救助技術の向上及び救助隊員相互の交流と親睦を深め、我が国における救助体制の一層の充実を図ることを目的とする。

2 日時

令和5年12月14日（木）10時30分から17時00分まで

3 会場

銀座プロッサム中央会館
東京都中央区銀座2丁目15番6号

4 テーマ

「最適な救助活動のための備え
～効果的な教育・訓練と災害事例の共有・活用～」

全国の救助隊では、多様化する災害への対応が求められてきている一方で、現場活動を支えてきた経験豊富なベテラン救助隊員の退職等により、技術・知識の継承に滞りが生じている。

長年の技術・知識を継承しつつ、あらゆる災害に対して救助隊が最適な救助活動をするためには、効果的な教育・訓練による救助人材の育成を行うとともに、経験値を補うために貴重な災害事例を活用することが望まれる。

本シンポジウムでは、多様な災害の教訓から取り組んでいる効果的な教育・訓練事例、日常の教育・訓練が活かされた災害事例や効果的かつ効率的な訓練手法等を全国の救助隊員が共有することで、救助活動能力の充実強化の一助とする。

5 参加対象者

消防・救助隊員、消防学校関係者、都道府県消防防災関係者等
※会場内に各企業の救助資機材展示ブースを設置。

6 主催

総務省消防庁

7 開催方式

ハイブリッド開催方式（会場及びオンラインの同時開催）

8 次第（予定）

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| (1) 開会 | 10:30～10:35 (05) |
| 消防庁長官 挨拶 | |
| (2) 来賓祝辞 | 10:35～10:40 (05) |
| 全国消防長会会長 | |
| (3) 基調講演 | 10:40～11:20 (40) |
| ※講演者調整中 | |
| (4) 事例研究発表 1、2 | 11:30～12:10 (40) |
| ※2事例：各発表 15分、各質疑応答 5分 | |
| (5) 事例研究発表 3、4 | 12:15～12:55 (40) |
| ※2事例 | |
| (6) 特別報告 | 13:55～14:35 (40) |
| ※報告者調整中 | |
| (7) 事例研究発表 5、6 | 14:40～15:20 (40) |
| ※2事例 | |
| (8) 事例研究発表 7、8 | 15:30～16:10 (40) |
| ※2事例 | |
| (9) 総合討論 | 16:15～16:55 (40) |
| 講演者、特別報告者、事例研究発表者によるパネルディスカッション | |
| (10) 閉会 | 16:55～17:00 (05) |
| 消防庁国民保護・防災部参事官 挨拶 | |

9 参加申込み

(1) 申込方法

都道府県担当者が会場参加及びオンライン参加の希望者を取りまとめ、別紙 1 「参加希望調査表」に必要事項を記入の上、令和5年8月4日（金）までに下記のアドレスへ電子メールで申し込んでください。

※会場参加者数には制限があるため、希望者多数の場合は参加者数を調整します。会場参加から漏れた場合、オンライン参加に振り替えます。

※1つの端末から大画面に投影し、複数人で視聴することも可能です。その場合、オンライン参加希望回線数 1 として計上してください。

(2) 参加費用

無料（旅費・通信費等については、参加者側の負担となります。）

(3) その他

11月頃に「プログラム」及び「入場整理券」をメール等で送付する予定です。

（当日は、入場整理券を持参している方のみ入場可能です。）

10 事例研究の募集

(1) 募集する事例

・訓練や教育が活かされた現場事例

（例：建築業者等の連携訓練が活かされたトレンチレスキュー事案）

・現場活動を踏まえ、実施している訓練や取り組み

（例：火災救助での受傷者軽減に向けた訓練マニュアルの運用）

・先進的な教育・訓練

（例：VRを活用した疑似救助対応訓練）

※上記の他、全国の消防本部に共有することで、災害対応能力の向上に資する事例

(2) 発表方法及び発表時間

パソコン等を使用し、おおむね15分間以内で発表をお願いします。

事例研究発表を充実させるため、消防本部紹介は最小限とし、抄録・記録集に掲載する形式とします。

(3) 応募方法

ア 都道府県担当者が事例研究発表希望者を取りまとめ、調査表様式 別紙2「事例研究発表調査表」、別紙3「事例研究発表原稿様式」に必要事項を記入の上、**令和5年9月15日（金）まで**に下記のアドレスへ電子メールで応募してください。

イ 発表希望者がいない都道府県についても、その旨を御連絡ください。

ウ 記載例を必ず御参照ください。

エ **都道府県担当者が発表希望者を取りまとめる際に、発表希望者の把握漏れがないように注意してください。**

オ ファイルサイズが大きい（7MB以上）場合は、以下の問い合わせ先まで御連絡ください。

(4) 事例研究発表者の決定

原稿を受領後、総務省消防庁において事例研究発表者を選考し、10月上旬頃に結果をお知らせするとともに、当日の発表資料の作成を依頼します。

なお、選出されなかった事例研究については、本シンポジウムの記録集に掲載

載する予定です。ただし、テーマに沿っていないもの等は掲載を省略します。

(5) その他

ア 発表者1名までの旅費等については、総務省消防庁で負担します。(発表補助者については、自己負担となります。)

イ 事例研究発表者は開催日の前日(令和5年12月13日(水))にリハーサルを実施予定です。

ウ 発表に使用するパソコンは総務省消防庁で準備します。

応募・問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部参事官付救助係

戸田事務官

TEL: 03-5253-7507

E-mail: fdma.kyuujo@soumu.go.jp

別紙1 「参加希望調査表」

「最適な救助活動のための備え～効果的な教育・訓練と災害事例の共有・活用～」

都道府県名		
担当者 連絡 先	部署名	
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	

■「会場参加希望人数」「オンライン参加希望回線数」「オンライン視聴予定人数」を記載してください。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

※会場参加希望者多数の場合、消防庁で人数調整を行います。

会場参加から漏れた場合は、オンライン参加へ振り替えます。

※1つの端末から大画面に投影し、複数人で視聴することも可能です。

その場合、オンライン参加希望回線数1として計上してください。

※オンライン視聴予定人数は概算人数で構いません。

	消防関係機関名	会場希望	オンライン 希望回線数	オンライン 視聴予定人数
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
合計		0	0	0

別紙2 「事例研究発表調査表」

テーマ「最適な救助活動のための備え～効果的な教育・訓練と災害事例の共有・活用～」

都道府県名		
消防本部・消防学校名		
所属		
階級		
ふりがな		
氏名		
連絡先	住所	〒
	電話番号	
発表演題		
PC使用(パワーポイント)		有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>

事務担当者	所属名	
	役職または階級	
	ふりがな	
	氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	

演題は、14ポイント

「○○○○○○○○○○○○○○○○ (演題名)」

×

×

1行空ける。

霞ヶ関消防局
消防司令補 霞 太郎

(本文) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

現職

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

職歴

平成○年 ○月 霞ヶ関消防局採用

令和○年 ○月 現職

本文末尾に記載。

留意事項

- 1 使用ソフト 「MS-Word」
- 2 基本書式
 - (1) 用紙 A4 縦・横書き
 - (2) 文字 文字数 40・行数 40
 - (3) 余白 上 25mm・下 20mm・左右 20mm
 - (4) 字体 明朝体・12 ポイント
- 3 記載上の留意点
 - (1) 演題名は第 1 行目の中央とし、1 行あけて所属・氏名等を書いてください。また、演題名の文字サイズは 14 ポイントとしてください。
 - (2) 本文中に、図表や写真を適宜用いることは支障ありません。なお、写真等を掲載する場合は、個人のプライバシー保護等に十分注意してください。
 - (3) 本文の末尾に「現職」及び簡単な「職歴」を書いてください。
 - (4) 記録集掲載を考慮し、6 ページ以内で論理的にまとめることとし、以下について記載してください。
 - ア 概要（災害、活動、取り組み等）
 - イ 推奨・検討事項
 - ウ 推奨・検討事項を踏まえた改善策及び教訓（他消防本部に共有すべきこと）